

概要

2015年 善光寺御開帳記念講座 【続・古典を読む -歴史と文学-】

第3回 皇極(斉明)天皇の実像と 『善光寺縁起』

開講日時： 4 / 25 (土) 午後 2 : 3 0 ~ 4 : 2 0

講義会場：金鷄会館(国登録有形文化財)宝形塔屋講義室

講師：関西大学 文学部 総合人文学科

日本史学専修 教授

西本 昌弘(にしもと まさひろ)先生

概要：善光寺の『古縁起』では、長野の善光寺の創建は皇極天皇元年(642)のこととされ、中世以降の『善光寺縁起』には、地獄に落ちようとする皇極天皇が、善光寺如来や本田善佐に救われたという話がみえる。

皇極天皇は推古天皇につぐ第二の女帝で、蘇我氏の全盛期に即位し、蘇我氏が滅亡した大化改新時に譲位する。その後、再び皇位につき(斉明天皇)、息子の中大兄皇子らとともに、飛鳥中枢部の開発や百濟救援軍の派遣などに手腕を発揮して、九州の朝倉宮で亡くなった。飛鳥における最近の石神遺跡や酒船石遺跡などの発掘調査では、斉明天皇の時代の巨大な迎賓館や庭園遺跡などが姿を現してきている。

本講座では、皇極天皇や斉明天皇の時代とはどのような時代であったのかをお話しし、後世の『善光寺縁起』において、なぜ天皇が地獄に落ちる話が出来上がったのかを考えてみたいと思う。